

L'aile d'Howl



【ライル・ドウル:ホウルの翼(仏語)】

March 2015

花巻市競技スポーツ推進事業☆ 全国大会優勝監督をお招きして

2月28日～3月1日、花巻中学校体育館において、平成26年度花巻市競技スポーツ推進事業と題して、県外から外部講師をお招きし、指導者講習会が開催されました。昨年度は大同ハンドボールスクールの濱野健一氏を講師としてお迎えしましたが、今年度はそれに続いて、山口県岩国市平田中学校ハンドボール部顧問である藤高先生をお招きしました。平田中学校は全国大会の常連に名を連ね、昨年3月に開催された春の全国中学生大会では、なんと男女アベック優勝という快挙を達成！まさに全国トップチームの監督から指導法を学ぶべく、花巻中・花巻北中の生徒ほか、顧問や外部コーチ陣が一同に会し研鑽を積みました。

初日は14時から花巻中体育館において、実技指導が行われました。その後、会議室に場所を移し、講演をいただきました。夜には花巻温泉で藤高先生を囲む会が行われ、懇親を深めたようです。

2日目は再度実技指導が行われました。とにかくDF重視のハンドボールスタイルを貫く藤高先生は、このDFがこう動いたらこの次はこう動く、というようなDFの「約束」を徹底的に指導されていました。このようなDFの約束事がしっかりとできるからこそ、守って速攻のパターンが作り出せると思いますし、全国大会でも常に上位をねらえるチームが作れるのだと非常に感心しました。藤高先生は、DF:OF=7:3の割合でご指導されているとのこと。ジュニア期の指導においては、とにかく楽しさを伝えるために専らOF面を中心に指導しがちですが、このようにDF中心で指導内容を考えてみるのもいいかもしれませんね。もちろん、一見地味なDF練習を子どもたちにどのように楽しくやらせるか、OFとのバランスも考えながらやることは大事だと思いますが。

非常に有意義な指導者講習会でありました。今回勉強したことを活かし、今夏に花巻市で開催される全国中学校大会に、地元からチームが出場できるよう頑張っていきたいものです！



第4回箱崎カップ！ 女子の部は花巻クラブジュニアが優勝☆



故・箱崎敬吉先生の冠を頂戴し、県内少年団の交流大会から名称を変えて第4年。第4回となる箱崎カップ岩手県小学生ハンドボール大会が、去る3月15日、花巻市総合体育館にて開催されました。高学年男女、U-10、U-8の部に加え、今回も近隣県からチームをご招待し、交流試合を行いながら、2014年度最後の大会を実施することができました。今回ご招待したのは、大崎ハンドボールスポ少(宮城県大崎市)、湯沢ハンドボールスポ少(秋田県湯沢市)、そして十和田ジュニア(青森県十和田市)の3チーム。箱崎カップの順位に関係なく、これらの招待チームには総当たりリーグ戦を行っていただき、その順位に合わせて、岩手県内少年団との交流試合を行うようにしました。

高学年男女の部では、来年度から正式導入されるJクイックハンドボールのルールに沿って、7分-3分-7分-3分-7分の3ピリオド制で行われました。男子の部では、リトルハンドが矢巾フェニックスを1点差で下し、決勝に進出。花巻クラブジュニアはヴォルペ滝沢を序盤大きくリードし、その点差を守って勝利。昨年同様決勝に駒を進めましたが、リトルハンドの強烈なシュートに徐々に点差を広げられ、リトルハンドが17-8で勝ち、見事優勝を果たしました。残念ながら、花巻クラブジ

ジュニアは連覇を達成できませんでしたが、最後まで一生懸命戦った姿はとても立派でした。

女子の部では、Jクイックハンドボール方式になり、積極的なDFから速攻を出せるようになってきた花巻クラブジュニアが初戦でリトルハンドに勝利します。決勝での相手は、ヴォルペ滝沢との接戦を制した矢巾フェニックス。今年度一度も矢巾フェニックスに勝てていなかった花巻クラブジュニアは、ここぞとばかりに奮起。エースの藤原ひなた選手が積極的にパスカットを狙い、ライトバックの土佐春乃選手が瞬足を活かした速攻を繰り返して、リードを広げていきます。矢巾フェニックス得意のカットインには何度もやられたものの、守って速攻の形で得点を重ねた花巻クラブジュニアは、矢巾フェニックス相手に嬉しい今シーズン初勝利。同時に、箱崎カップ優勝を手にして、今年度を締めくくりました。



U-10の部では、矢巾フェニックスが決勝で花巻クラブジュニアを破り優勝。U-8の部では、1点差のゲームをものにしたリトルハンドが、矢巾フェニックスに勝利して栄冠を勝ち取りました。

その後、招待チームとの交流試合が行われました。非常に和やかな雰囲気、2014年度の締めくくりとなる試合を楽しんでいました。毎年思うことですが、この大会に参加した子どもたちが、改めて「中学校に行ってもハンドボールやろう!」と思ってくれたり、対戦相手と将来的にもっと上のステージで再会したりしてくれたら、本当に嬉しいなあと思います。閉会式では、小学生委員会委員長の安倍富士男先生から、「箱崎カップの元となった交流大会をやり始めた当初の卒業生が今、日本代表としてアジア選手権で戦っています。みんなもこの大会から大きく羽ばたいてほしい」というご挨拶をされました。岩手県にハンドボールの種を植えてくださった箱崎先生の遺志は、現在250名を超える小学生ハンドボーラーにも脈々と継がれています!

今大会の運営にあたりご尽力いただいた全ての関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。なお、急なお話にも関わらず、岩手のハンドボールを応援したい! ということでご寄付を頂戴した岩手菅公学生服(株)様にも、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



28時間ハンドボール! 皆様のご参加をお待ちしています♡

いわて花巻
28時間耐久
ハンドボールゲーム

出場資格無制限
大学生以下500円
一般 1,000円

5/5(火・祝)9時~5/6(水・祝)13時
@花巻市総合体育館 アネックス

2016(H28)年 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会500日前PRイベント
「東日本大震災津波復興&2020年東京オリンピック・パラリンピック応援企画」
お問合せ⇒花巻市ハンドボール協会: m.hand.hanamaki@gmail.com

5月5日~6日にかけて、花巻市総合体育館にて、28時間耐久ハンドボールゲームを開催いたします! 2016年=平成28年に希望郷いわて国体が開催されることから、28時間という時間設定にし、とにかくハンドボールをひたすら楽しもうという企画です。ハンドボールの経験、年齢、国籍等問わず、イベントの趣旨にご賛同いただける方は誰でも参加いただけます。サブタイトルにもありますが、「ハンドボール、楽しすぎて気が付いたら28時間も経っちゃった!」という気持ちでご参加いただければ幸いです! 日本国内では最長記録となるこのイベントに参加して、楽しいGWの思い出を作ってはいかがですか?

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2015年3月号
2015年3月25日発行
発行: 花巻市ハンドボール協会